

information 一今月のお知らせ一

information 一今月のお知らせ一

健康 ひと回メモ

No.511

人とウイルス感染症

昨年末に中国武漢市で発生した新型コロナウイルスによる感染症は、今年に入ってから世界中に拡がり、各国が対策に追われ、日本においても3月中旬で1000人を超える発症者が出ています。過去、人に感染するコロナウイルスは数種類見つかっていて、いわゆる一般のかぜの原因の1〜2割くらいがコロナウイルスによって引き起こされています。また2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年の「中東呼吸器症候群(MERS)」もコロナウイルスが原因です。

人とウイルスの歴史は1万年以上前の新石器時代、農業集落が形成されたころに始まったとされています。長い歴史のなかで、もっとも多くの死亡原因となったウイルスによる感染症は天然痘です。天然痘は20世紀においても世界中で3億人の人がその感染によって命を落としましたが、予防接種により病気が克服され、世界保健機関(WHO)は1979年に天然痘の根絶宣言をしました。

そのほかにも麻疹、ポリオなどのウイルスはむかしから人類を宿主として感染し、多大な影響を及ぼしてきましたが、ワクチンによる予防接種により近年発症者は激減しました。

また、20世紀後半世界に拡がった「後天性免疫不全症候群(AIDS)」は「ヒト免疫不全ウイルス(HIV)」によって引き起こされる感染症ですが、現在治療は格段に進歩しています。

毎年冬になると流行するインフルエンザは現代人にとってもっとも身近なウイルスによる疾患ですが、予防接種、特效薬による治療が行われてもなかなか流行を抑えることはできません。ただ、毎年かかる人が多いため集団や個人の免疫力が付き、致死率は前記の他の疾患と比較して高くはありません。

ヒト以外の動物のウイルスが遺伝的変異を起こしてヒトに感染したときに、大流行が起ることがあります。1918年のスペインかぜといわれるインフルエンザの大流行(パンデミック)は、全世界で5000万人が死亡、日本でも当時の人口の0.8%にあたる45万人が死亡しました。100年前の日本と現代では住環境も医学も全く違うので、今回の新型コロナウイルスの流行で同じことは起こりませんが、当時も日本政府は国民に対し、手洗いなどの手指衛生以外に現代とほとんど同じ対処法を呼び掛けています。例えば咳をする人に近づかない、人の集まるところに行かない、マスクをかける、口鼻を手ぬぐいなどで覆う、かぜをひいたら寝床に入って医者をおぶ、などです。

どんなに環境衛生が良くなり医学が進歩しても、感染症予防の基本はむかしから同じということでしょう。(岡谷市医師会)

お知らせ 令和元年度 行政評価の取組

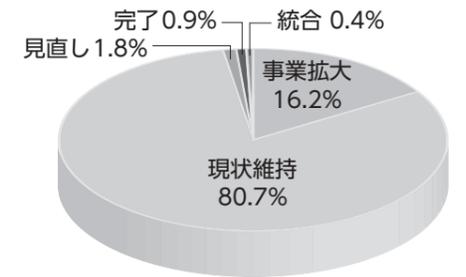
以下の3つを主な目的として、平成30年度に市が実施したすべての事務事業を評価しました。

- ①職員の意識改革・政策形成能力の向上
- ②事務事業執行の改革改善
- ③重要性の低い事業の休廃止・事業の優先順位付け

●事務事業評価および施策評価(職員による内部評価)

評価名	評価件数	内容
事務事業評価	292件	平成30年度に実施した事務事業について、妥当性・有効性・効率性の観点から評価および改善案を策定し、次年度の計画および事業実施へフィードバック
施策評価 (施策=内容の似た事務事業をまとめた単位)	41件	<ul style="list-style-type: none"> 施策の実施状況を把握し、施策目標の達成度を評価 施策を構成する各事務事業について、施策に対する貢献度から優先度を判断し、元年度の施策の基本的な考え方として予算編成、組織改正において参考

施策評価における事務事業の優先順位などの割合



●行政評価外部評価

(行政評価外部評価委員会(市民)による評価)

「市の関与の必要性」「基本目標に対する貢献度など、有効性・妥当性」「コストなどの効率性」の視点から、岡谷市行政評価外部評価委員会(市民)が外部・市民の目線により事業のあり方の検証・再構築・市民周知などを目的に実施し、9月27日に市長に報告書を提出しました。

市では、事業のあり方や予算への反映に対する考え方・意見として、評価結果を活用しました。外部評価の対象とした5つの事務事業は右表のとおりです。

第4次総合計画	施策	事務事業名
総合計画の推進に向けて	市民総参加のまちづくり	コミュニティ事業
	男女共同参画の推進	男女共同参画推進事業
	将来を見据えた行政経営の推進	ふるさと寄附促進事業
	開かれた市政運営の推進	シルキーチャンネル事業 広報広聴事業

平成30年度に実施した事務事業の、すべての評価結果は、市ホームページ、市役所1階情報公開コーナーで公表しています。

問合せ●行政管理課(内線1526)

健康

5月31日は世界禁煙デー!!

5月31日～6月6日は禁煙週間



なくそう! 望まない受動喫煙

～マナーからルールへ～

2020年4月から改正健康増進法が全面施行し、受動喫煙防止対策の取り組みが強化されました。

●第一種施設(学校、病院、行政機関など)…原則敷地内禁煙

●第二種施設(第一種施設以外の多くの人が利用する全ての施設)…原則屋内禁煙(喫煙専用室設置可)

喫煙者は、決められたルールを守るとともに、屋外や家庭においても、周囲の人がいない場所で喫煙をするなど配慮しましょう!

喫煙者のみなさん! この機会に禁煙にチャレンジしてみませんか?

- 禁煙の効果**
- ①心筋梗塞などの虚血性心疾患、脳梗塞や肺がんなどのリスクが低下します。
 - ②免疫力が回復し、かぜやインフルエンザなどの感染症にかかりにくくなります。
 - ③胃の調子が改善したり、目覚めがさわやかになるなど日常生活のなかで実感できる効果があります。



禁煙治療に保険が使える市内の医療機関

医療機関名	所在地	電話番号
岡谷市民病院	本町4-11-33	23-8000
今井内科・胃腸科クリニック	今井1211	24-8688
祐愛病院	南宮2-2-34	23-0222
牛山医院	天竜町3-2-23	78-1192

令和2年2月現在:日本禁煙学会ホームページより

4月から禁煙外来の受診で Okaya Payポイント(1,000P)がもらえるようになりました!!

詳しくは、広報おかや4月号をご覧ください。

問合せ●健康推進課(内線1184)

お知らせ 認知症サポーター養成講座

参加無料
申込み不要

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」です。特別何かをする人というよりは、物忘れで困った人と出会ったときに「どうしました?」とやさしく声をかけよう、という気持ちでいることが認知症サポーターの役割です。認知症の人もそうでない人も“お互いさま”と思えることが、「認知症になっても安心して暮らせる岡谷市」につながります。

時間…午後2時～3時30分

(7月・8月は午後6時30分～8時)

場所…温泉デイサービス 湯けむり(スワンドーム横)

講師…社会福祉法人 平成会 湯けむり 古内 悦子さん

持ち物…筆記用具



開催日	
6月16日(火)	11月23日(月)
7月17日(金)	12月15日(火)
8月24日(月)	1月11日(月)
9月21日(月)	2月11日(木)
10月13日(火)	3月15日(月)
※1回完結の講座です。	

問合せ●介護福祉課(内線1276) / 平成会 研修センター ☎0263-53-1151

お知らせ 2020年 工業統計調査を実施します



政府統計

工業統計調査は、わが国の工業の実態を明らかにすることを目的とした、統計法に基づく報告義務がある重要な統計です。調査の対象は製造業を営む事業所で、従業者数が4名以上の事業所には、5月から調査票を配布します。2019年1月から12月の実績をご報告ください。結果は中小企業施策や地域振興などに活用されます。調査の趣旨・必要性をご理解のうえ、回答をよろしく願います。

問合せ●秘書広報課(内線1363)